



4月5日 決算委員会

5月2日 初のインスタライブ

# 高橋みつお 参議院議員 通信

## 前略

今年と半期は通常国会において所属する議院運営委員会、農林水産委員会のほか、予算委員会、決算委員会など計14回質疑。コロナ禍への対処を主として、中長期的観点から重要な諸課題についても積極的に取り上げ、国の対応を求めました。もちろん、コロナ禍の克服なくして希望ある未来を聞くとは困難です。そのため、公明党の国県市町のネットワーク力を最大限に発揮して、コロナ禍の接種を一層推し進めると共に、米干ばつと見据え、国産フコチンや治療薬の開発の加速化に向けて全力で後押ししている決意です。

任期となる2025年、そして2030年までのSDGs(国連持続可能な開発目標)を展望し、引き続き現場の皆様のお声と国政に届け、少しでもお役に立てるよう、全力で取り組んでまいります。何卒御指導の程宜しくお願い申し上げます。

参議院議員 高橋 光男

## Profile

公明党国際局長・兵庫県本部青年局長。元外交官。在ブラジル日本大使館一等書記官等歴任。ポルトガル語通訳官として首脳外交も担う。大阪外大(現大阪大)英語科在学中に外交官試験に合格し中退。1977年、兵庫県宝塚市生まれ。子育て世代、二児の父親。阪神淡路大震災を経験。2019年7月、参議院議員・兵庫県選挙区で初当選。2021年3月、中央大学法学部卒業。座右の銘「建設は死闘、破壊は一瞬」



## SDGsとは・・・

Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)の略称。2015年9月の国連サミットで採択されたもので、日本を含む国連加盟193か国が2016年から2030年の15年間で達成するために掲げた国際社会共通の目標。17のゴール・169のターゲットから構成され、貧困や飢餓といった問題から、働きがいや経済成長、気候変動に至るまで、21世紀の世界が抱える課題を包括的に挙げている。



## 兵庫2区 赤羽 かずよし

1993年の衆院選で初当選。衆院当選8回。国土交通大臣。63歳。衆院国交委員長や財務副大臣を歴任し、第2次安倍内閣では経済産業副大臣を務めた。一昨年の台風21号禍では関西国際空港に閉じ込められた利用客を、高速船の活用を進め救出。経産副大臣時代には東日本大震災の被災地を担当した。

## 兵庫8区 中野 ひろまさ

2012年の衆院選で初当選。衆院当選3回。経済産業・内閣府・復興大臣政務官。43歳。田原総一郎氏が代表を務めるNPOが「三ツ星議員」と評価するなど、国会での活動はトップクラス。地元の尼崎市の魅力を高めるため、尼崎城再建に伴う城址公園整備などを後押しした。



Bridge the Future は「未来をつなぐ」という意味です。国と国、人と人に橋を架け、希望の未来をつなぐ。高橋の「橋=Bridge」と、みつおの「M」を組み合わせた決意を表したロゴです。

発行：公明党参議院兵庫選挙区第2総支部

兵庫事務所 〒650-0015 兵庫県神戸市中央区多聞通3-3-16  
甲南第1ビル 1102号室  
TEL:078-367-6755 FAX:078-367-6756

国会事務所 〒100-8962 東京都千代田区永田町2-1-1  
参議院議員会館 614号室  
TEL:03-6550-0614 FAX:03-6551-0614

WEBサイト

高橋みつお

もっと  
詳しい!



<https://takahashi-mitsuo.com/>

最新情報を  
発信しています!  
ぜひご覧ください



友達追加は  
こちら! →







## コロナ禍の克服へ 現場の声で国を動かす!

参院議運委にて緊急事態宣言発令(1/7)、まん延防止等重点措置適用(2/12)、緊急事態宣言解除(3/18)、同再発令(4/23)、同区域拡大(5/21)と節目の機会に登壇し、政府に対し必要な医療体制、検査強化、事業者支援、円滑なワクチン接種推進等を全力で求めました。心したのは、新型コロナのまん延で最も負荷のかかる医療・介護などの現場のお声を国に届け国の対応を促すこと。そのため、高齢者施設の質の高い検査、変異株の特性を踏まえた病院の退院基準緩和、自宅療養者へのケアとフォローアップのための体制強化などを求め、政府の具体的な対応を実現しました(4/5決算委員会)。



(1月、議院運営委員会)

## 持続可能な社会をグローバルな 視点に立ち地域から取り組む!

常任で所属する農林水産委では、2050年カーボンニュートラルを見据えた森林吸収源の着実な確保、活用期にある木材を利用した地産地消型の木質バイオマス発電の推進、防災重点農業用ため池の整備のための支援などを求めました。(3/25,4/21,4/27 農水委員会)



(12月、原木処理現場の視察)



(4月、決算委員会)

また、国際経済・外交調査会では、昨夏のモーリシャス沖の油流出事故に関し、環境回復や生物多様性保護に向けた国際協力の推進や被災者救済制度などを参考人に質疑し、今後の方途につき意見を交わしました。(2/17,4/21 国際経済・外交調査会)

### コラム ジェンダー平等

我が国が世界で最も遅れている課題がジェンダー(社会における男女の格差)平等。参院決算委(4/5)では、地方創生のためのジェンダーギャップ解消(豊岡市での取組の全国的普及)、公明党が国会で最初に取り上げ地方でも推進されている「生理の貧困」問題への対処などを求め、国から推進交付金の活用など前向きな答弁を引き出しました。



5 ジェンダー平等を実現しよう

人間  
PEOPLE

地球  
PLANET

高橋みつおは  
SUSTAINABLE  
DEVELOPMENT  
GOALS  
(国連持続可能な開発目標)  
を推進します!

豊かさ  
PROSPERITY

平和と協働  
PEACE & PARTNERSHIP

### コラム シトラスリボン運動

未だやまない医療従事者やコロナ感染者への差別や学校でのいじめ等々。「医療従事者、エッセンシャルワーカー、コロナ感染者への偏見や差別をなくそう」-そのために愛媛で始まったシトラスリボン運動。今国会中、シトラスリボンバッジを付けて臨みました。コロナは誰もが感染するリスクがあります。全国的な展開を後押ししています。



## 困難に直面する現場に寄り添い 豊かな未来を拓く!

昨冬、記録的な大雪が発生。兵庫県も大きな被害を受けました。現場にいち早く訪れ、担当大臣への緊急提言や国会での質疑を通じて、岩津ねぎ(日本三大ねぎ)の被災農家支援(3/12予算委員会)などを実現。同時に、コロナ禍に苦しむ農家支援(山田錦、但馬牛・神戸ビーフ等)を粘り強く求めました(3/16,5/11農水委員会)



大雪が降った丹土地区を訪問  
(12月、新温泉町)



ユーストークミーティング  
(4月、宍粟市)

青年の声こそ未来を拓く力。コロナ禍を乗り越え、次代を創るのは青年の熱と力です。兵庫県内の職業別、地域別ユーストークミーティングを重ね、現場で汗する若者の声を国政に届けました。本年実施のボイスアクション(アンケート運動)をもとに、今年も『青年政策2021』を政府に提出し、実現を求めてまいります。

## 外交経験を活かし 国際協力でコロナ禍の克服へ!



ブラジル大使山口代表表敬訪問  
(5月、参院議員会館)

党国際局次長として、ブラジル大使、エチオピア大使による山口代表表敬に同席。世界全体でコロナ禍を乗り越えるためには、日本が国際協力において果たすべき役割は大。保健分野のODA(政府開発援助)の今後5年で倍増を提唱。具体的には、昨年来国会で取り組んできたCOVAXファシリ

ティー(コロナワクチン国際共同購入枠組み)につき我が国の更なる貢献を要求(4/5決算委員会)。同枠組みの実施主体であるGaviワクチンアライアンス事務局長とCEPI(感染症流行対策イノベーション連合)CEOと山口代表とのオンライン会談に同席(5/10)。我が国の増資と迅速な拠出を重ねて求め、ワクチンサミット(6/2)で日本は8億米ドルの増資を決定。



(5月、官房長官に緊急提言)